令和７（2025）年度

学習院大学大学院　博士前期課程（秋期）

人文科学研究科・英語英米文学専攻

入学試験問題

9：00～10：00　英語

10：20～11：50　分野別基礎知識・論文

（英語圏の文学・文化、英語学の

２分野から１つを選択）

2025年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	問題用紙 （ 5 ）枚中（ 1 ）枚目			採点欄	

I.　次の英文を読み、下の問い（問１～５）に答えなさい。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

（Charlotte Hilton Andersen, “This Polite Phrase May Soon Be a Thing of the Past,” *Reader's Digest,* June 12, 2024 より）

2025年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	問題用紙 （ 5 ）枚中（ 2 ）枚目			採点欄	

問 1　空所（ X ）に入る最も適切な表現を次の（a）～（d）から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。
（a）just right　（b）slightly wrong　（c）too high　（d）too low

問 2　下線部（1）を日本語に訳しなさい。

問 3　下線部（2）を日本語に訳しなさい。

問 4　下線部（3）の具体的内容を、同一段落（本文第6段落）中の例を用いて日本語で説明しなさい。

問 5　下線部（4）を日本語に訳しなさい。

2025年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	解答用紙 （ 3 ）枚中（ 1 ）枚目			採点欄	

I.

問 1

（　　）

問 2

問 3

問 4

問 5

2025 年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	問題用紙 （ 5 ）枚中（ 2 ）枚目			採点欄	

問 1　空所（ X ）に入る最も適切な表現を次の（a）～（d）から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

（a）just right　（b）slightly wrong　（c）too high　（d）too low

正解：(c)

問 2　下線部（1）を日本語に訳しなさい。

解答例：[redacted]

問 3　下線部（2）を日本語に訳しなさい。

解答例：[redacted]

問 4　下線部（3）の具体的内容を、同一段落（本文第 6 段落）中の例を用いて日本語で説明しなさい。

解答のポイント：後続する二文に具体的内容が述べられているので、そこを正確に理解して解答することが求められる。

問 5　下線部（4）を日本語に訳しなさい。

解答例：[redacted]

2025年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	問題用紙 （ 5 ）枚中（ 3 ）枚目			採点欄	

II.　次の英文を読み、下の問い（問１～５）に答えなさい。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

（Simon Makin, “Not Everyone Has an Inner Voice Streaming through Their Head,” *Scientific American*, July 5, 2024より）

2025年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	問題用紙 （ 5 ）枚中（ 4 ）枚目			採点欄	

Notes:
- inner speech　内言語（ないげんご）（思考活動をするときなどに心の中で用いられる具体的発声を伴わない言語）
- cognitive scientist　認知科学者
- cognition　認知

問1　下線部（1）が何に対する名前かを、句読点を含め２０字以内の日本語で説明しなさい。

問2　下線部（2）を日本語に訳しなさい。

問3　下線部（3）を日本語に訳しなさい。

問4　下線部（4）が具体的にどのような人たちかを、句読点を含め２５字以内の日本語で説明しなさい。

問5　下線部（5）を日本語に訳しなさい。

2025 年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	解答用紙 （ 3 ）枚中（ 2 ）枚目			採点欄	

II.

問 1

問 2

問 3

問 4

問 5

2025 年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	問題用紙 （ 5 ）枚中（ 4 ）枚目			採点欄	

Notes:　inner speech　内言語（ないげんご）（思考活動をするときなどに心の中で用いられる具体的発声を伴わない言語）
cognitive scientist　認知科学者
cognition　認知

問１　下線部（１）が何に対する名前かを、句読点を含め２０字以内の日本語で説明しなさい。
解答のポイント：下線部が直前にある a lack of inner speech という症状の呼び名だということを理解して解答することが求められる。

問２　下線部（２）を日本語に訳しなさい。
解答例：[redacted]

問３　下線部（３）を日本語に訳しなさい。
解答例：[redacted]

問４　下線部（４）が具体的にどのような人たちかを、句読点を含め２５字以内の日本語で説明しなさい。
解答のポイント：同一段落の第一文および下線部が含まれる第二文の前半（A similar proportion of both groups said they had）を正確に理解して、参加者のタイプを解答することが求められる。

問５　下線部（５）を日本語に訳しなさい。
解答例：[redacted]

2025年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	問題用紙 （ 5 ）枚中（ 5 ）枚目			採点欄	

III.　次の文章の下線部を英語に訳しなさい。

創造は美しく、また尊ばれる。物理、化学、医学などで画期的な科学的な発見をした人たちは、ノーベル賞を授与され、世界中からの尊敬を集める。そこまでではなくても、国内でも文部科学省や、さまざまな学会が優れた発見、発明に対して表彰を行っている。

なぜ発見、発明、創造はかくも尊敬されるのだろうか。それはふつうにはなされない、つまりめったに起きないからである。なぜ起きないかといえば、大半の人はそういうことが苦手だからだ。人はふつうは型にはまった思考しかできないし、常識の枠を超えて考えたりすることもめったにない。これは科学者でもそうであり、大半の研究者はその学問分野ですでに取り上げられている問題をスタンダードな方法を用いて、少しばかり展開させるような研究を行っている。

（鈴木宏昭『認知バイアス－心に潜むふしぎな働き』より）

2025 年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	解答用紙 （ 3 ）枚中（ 3 ）枚目			採点欄	

III.

2025 年度　学習院大学大学院　人文科学研究科　秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	英語英米文学専攻	受験番号		カナ 氏名	
試験科目	英語 【試験時間】9:00～10:00	備考	問題用紙 （ 5 ）枚中（ 5 ）枚目			採点欄	

III.　次の文章の下線部を英語に訳しなさい。

創造は美しく、また尊ばれる。物理、化学、医学などで画期的な科学的な発見をした人たちは、ノーベル賞を授与され、世界中からの尊敬を集める。そこまででではなくても、国内でも文部科学省や、さまざまな学会が優れた発見、発明に対して表彰を行っている。

なぜ発見、発明、創造はかくも尊敬されるのだろうか。それはふつうにはなされない、つまりめったに起きないからである。なぜ起きないかといえば、大半の人はそういうことが苦手だからだ。人はふつうは型にはまった思考しかできないし、常識の枠を超えて考えたりすることもめったにない。これは科学者でもそうであり、大半の研究者はその学問分野ですでに取り上げられている問題をスタンダードな方法を用いて、少しばかり展開させるような研究を行っている。

（鈴木宏昭『認知バイアス－心に潜むふしぎな働き』より）

解答例：[redacted]